



平成17年2月10日

各位

東京都新宿区揚場町2番1号  
大興電子通信株式会社  
代表取締役社長 牧野誠毅  
(コード番号8023 東証第二部)  
問合せ先  
取締役管理本部長 真下宏明  
(TEL03-3266-8111)

### 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年11月12日に公表いたしました平成17年3月期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成17年3月期連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年11月12日発表)	42,000	340	200
今回修正予想(B)	42,000	160	400
増減額(B-A)	0	500	600
増減率(%)	-%	-%	-%
前期(平成16年3月期)実績	40,389	83	9

#### 2. 平成17年3月期個別業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年11月12日発表)	42,000	250	150
今回修正予想(B)	42,000	200	400
増減額(B-A)	0	450	550
増減率(%)	-%	-%	-%
前期(平成16年3月期)実績	40,260	119	75

#### 3. 平成17年3月期配当予想の修正

	1株当たり年間配当金		
	中間	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭
通 期	-	5 00	5 00
今 回 修 正 予 想	-	3 00	3 00
(ご参考) 前期の1株当たり配当金実績	-	3 00	3 00

#### 4. 連結業績修正の理由

連結業績につきましては、主として個別業績予想の修正による影響によるものであり、連結子会社、持分法適用会社の第3四半期業績を基に見直した結果、前回発表の見通しを下回る見込みとなりました。

#### 5. 個別業績修正の理由

受注高は430億円（前期比107%）売上高420億円（前期比104%）と計画通りに推移する見込みであります。粗利益率の高いソフトウェアサービス、保守サービスの減収により、経常利益は200百万円と計画を下回る見込みであります。

また、当期純利益につきましては、法人税等納税引当200百万円を見込んだ結果、前回発表の見通しを下回り400百万円の見込みとなりました。

#### 【参考：事業部門別の状況】

情報通信機器部門においては、2000年問題対応で導入した買い替え需要、流通業（小売業）向けソリューションの好調を背景に計画を上回る見込みであります。

ソフトウェアサービスについては、重点諸施策の結果、基幹系/業種ソリューション、CRM、セキュリティ、ネットワークが前年伸長いたしますが、投資対効果を求める姿勢が強く受注獲得に時間がかかる傾向にあるとともに低価格化がすすんでおり、特に都市圏地区においては受注獲得競争が激しく計画を下回る見込みであります。

保守サービスについては、導入展開サービス、運用支援サービス等のサービスビジネスが堅調に推移しますが、請負保守の減少をカバーするに至らず計画を下回る見込みであります。

ネットワーク工事については、交換機工事が低迷するものの、セキュリティ強化を背景としたネットワークの再構築が堅調に推移し計画通りの見込みであります。

#### 6. 配当予想修正の理由

前述した業績予想の修正を勘案し、1株につき3円に修正いたします。

以上